

長野駅善光寺口駅前広場が生まれ変わります

市では、平成 26 年度末の新幹線金沢延伸に合わせ、長野駅善光寺口駅前広場の整備を行います。駅前広場のデザイン決定にあたっては、有識者からなる長野駅善光寺口景観検討委員会を組織して検討を行い、昨年 8 月と 11 月に実施した市民意見募集の結果や同委員会からの提言を踏まえ、最終デザインを決定しました。



現在の駅前広場

■デザインコンセプト

歴史・伝統と自然を活かした、長野らしい「おもてなしの心」を駅前広場で表現し、長野の存在感を全国にアピールします。

■デザインの概要

仏都長野の玄関口にふさわしい長野の門を表現した大庇（おおびさし）・列柱と、善光寺にゆかりのある如是姫（によぜひめ）像を据えた中央広場が、来訪者をお迎えます。

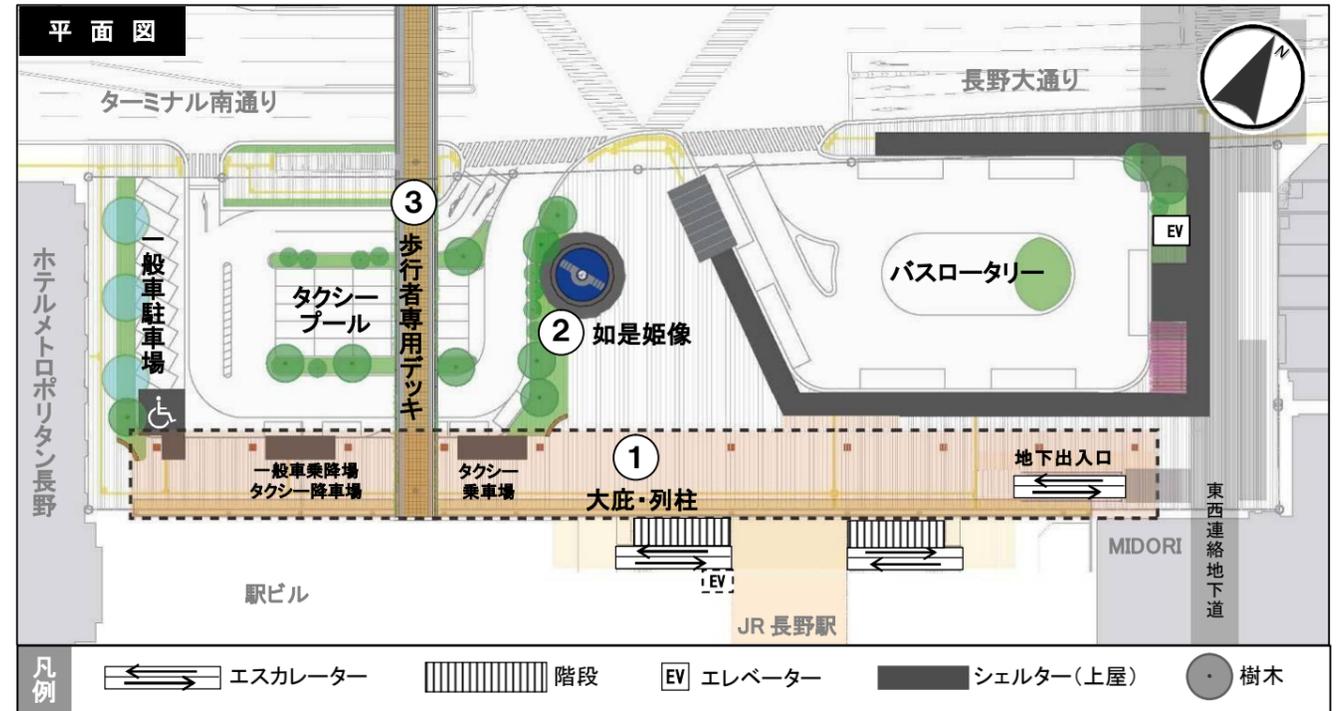
長野のすがすがしさを感ぜられる開放的な空間に、雨や雪に濡れずに移動できる雨よけをバランスよく配置します。

広場内の各施設は木のぬくもりを、また植栽は季節ごとの彩りを感じさせるものとし、舗装はシンプルな石張りとしています。

長野駅善光寺口駅前広場のイメージ図



※JR が計画している駅ビルのデザインは市が想定したもののイメージです。



①大庇・列柱



長野の歴史・伝統を現代的に表現した大庇・列柱には木材を使用し、イベント時には様々な演出が可能に。



大庇・列柱の演出例

②如是姫像



如是姫像の周辺には水盤、背後には四季が感じられる植栽を配置し、記念撮影ができるデッキを設置。

③歩行者専用デッキ



デッキ両側には、あんどん型の照明とプランターを置けるスペースを設置。